

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～21	日 本 史	22～39
世 界 史	40～59	地 理	60～71
数 学	72～77		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

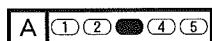
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

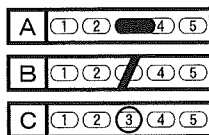
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(地 理)

〔I〕 つぎの文章を読み、かつ図1などを見ながら下記の問いに答えよ。ただし、解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示に従って記せ。

我々の住む地球上では、太陽から受けとるエネルギーの多少や降水量の多寡を反映して、多種・多様な気候が発現している。それに加えて、地表に接する大気は絶えずその状態を変化させている。それらの総体の結果として、例えば、地球の高緯度地方は寒冷な気候地域を呈している。とくに、極圏内では太陽高度が低く、夏季には太陽が地平線下に沈まないため 夜となる。また逆に、冬季には1日中まったく太陽の現れない 夜となって、オーロラなども見られる。このような寒冷地域の気候は、短い夏を中心に地衣類や蘚苔類が生える 気候と、年間を通じて雪や氷に覆われている 気候とに分けられる。とくに後者に該当する地域として北極地域や南極大陸が挙げられる。

ところで、人間の未知への関心は、20世紀に入るとそれまで無人の地であった南極大陸などに向けられた。南極地域の探検史を調べると、1772～1775年にかけて英国のクックが初めて南極圏に入って大陸周辺を航海したのに端を発するとされている。日本人としては、良く知られている陸軍(当時)の白瀬 ^{のぶ} 中尉が1910～1912年に図1中Sの 海から上陸を試みたのが最初と記されている。この図1において南極点は図中のOに該当し、この極点へ最初に到達したのがノルウェーの (1911年)である。さらに、国際地球観測年(1957～1958年)を契機に、日本も大陸縁辺部に位置する図1中の地点 に観測拠点として昭和基地を設けて現在に至っている。その後、今日では70を超える観測調査の基地がこの地域に展開されている。それによって気候・気象、地形・地質、あるいは動植物の生態、地下構造などの情報が徐々に集積されてきている。

なお、図1中で海岸線が極端に海洋側に突き出ている所(図中T)が 半島であり、近年、この半島で氷河の海への流出が急激に加速している。また、この半島と 海峡を挟んで対岸に、ある大陸が位置している点から考えれば、日付変更線を示す経線は図1中の と判断できる。

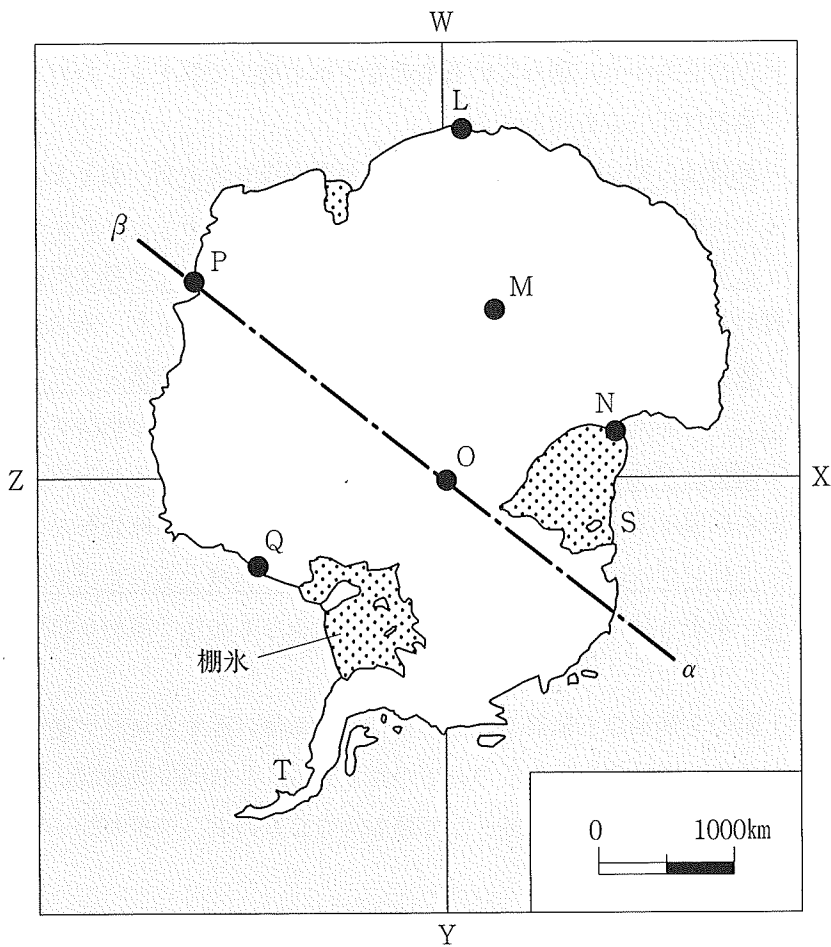


図1

問1 上記の文章中の空欄 ~ に入る最も適当な語句や地名，人名，および図1中の符号などを答えよ。

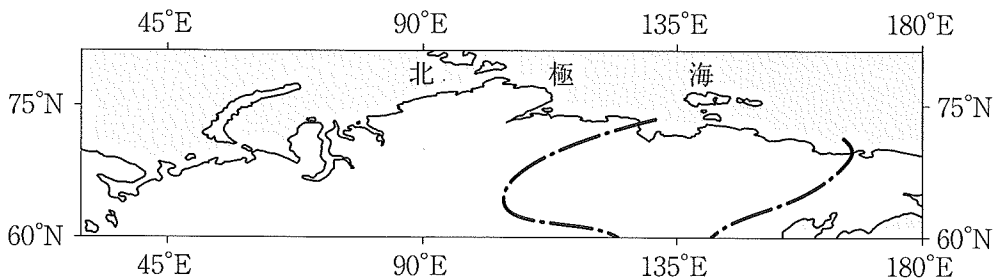
地理

問2 上記の文章中の下線部(1)に関連して、地球の極地域について述べた下の文

①～⑤のうちから、誤っているものをすべて選んで答えよ。ただし、各文頭の下線部は正しいものとする。

- ① 高緯度の寒気は中・低緯度の暖気と熱交換をするが、周りを海に囲まれている南極地域に比べ、周辺に陸地の在る北極地方でそれが活発である。
- ② 古生代前半まで、超大陸のパンゲアを構成していた南極大陸は、氷床に覆われているために、気温は低いけれども湿度が高くて、降雪量も多い。
- ③ 最近、地球温暖化に因る影響の現れではないかと危惧されている一つとして、北極海の夏季を中心とする海水面積の縮小傾向が指摘されている。
- ④ 地球上で両極地方は寒いけれど、とくに南極が北極よりも低温であり、その原因は大陸を覆う氷床の太陽光の反射、標高、水陸分布などにある。
- ⑤ フロンガスにその原因があると指摘された極域上空のオゾン濃度の低下は、夏から秋にかけて顕著で、かつ南極よりも北極で深刻な状況にある。

問3 上記の文章中の下線部(2)に関連して、北極海に面するロシア連邦を中心とした北緯60度以北を示したのが下の図である。この図中の陸域に記入されている一点鎖線の表わす内容として最も適当なものを、つぎの①～④のうちから一つ選んで答えよ。

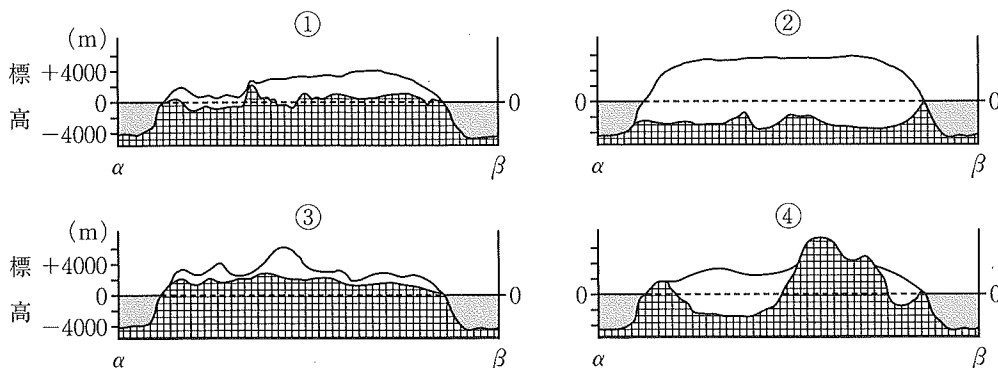


(平射円筒図法による)

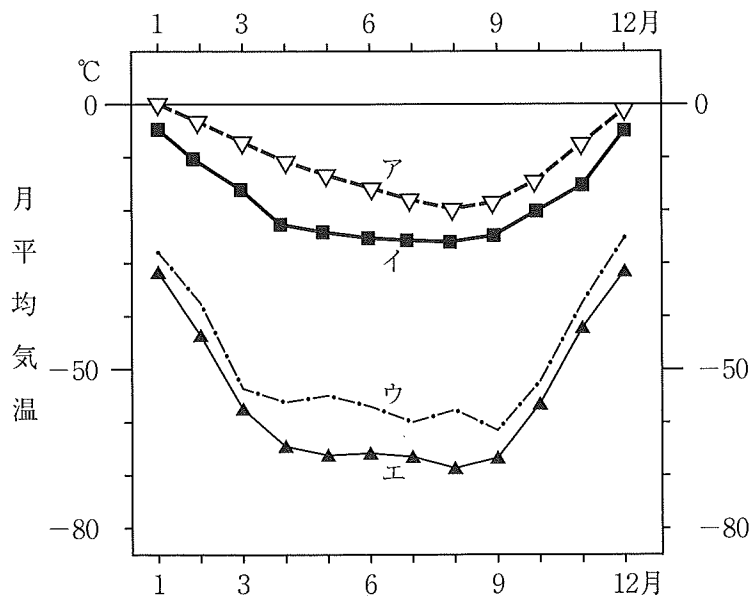
- ① 永久凍土の連続分布する南限の線
- ② 気温年較差50℃の等値線
- ③ 最暖月10℃の等値線
- ④ 農耕の北限の線

問4 図1中の南極点Oを通る基線 $\alpha \sim \beta$ に沿って、南極大陸の横断面図を作成した図として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選んで答えよ。

<凡例> 



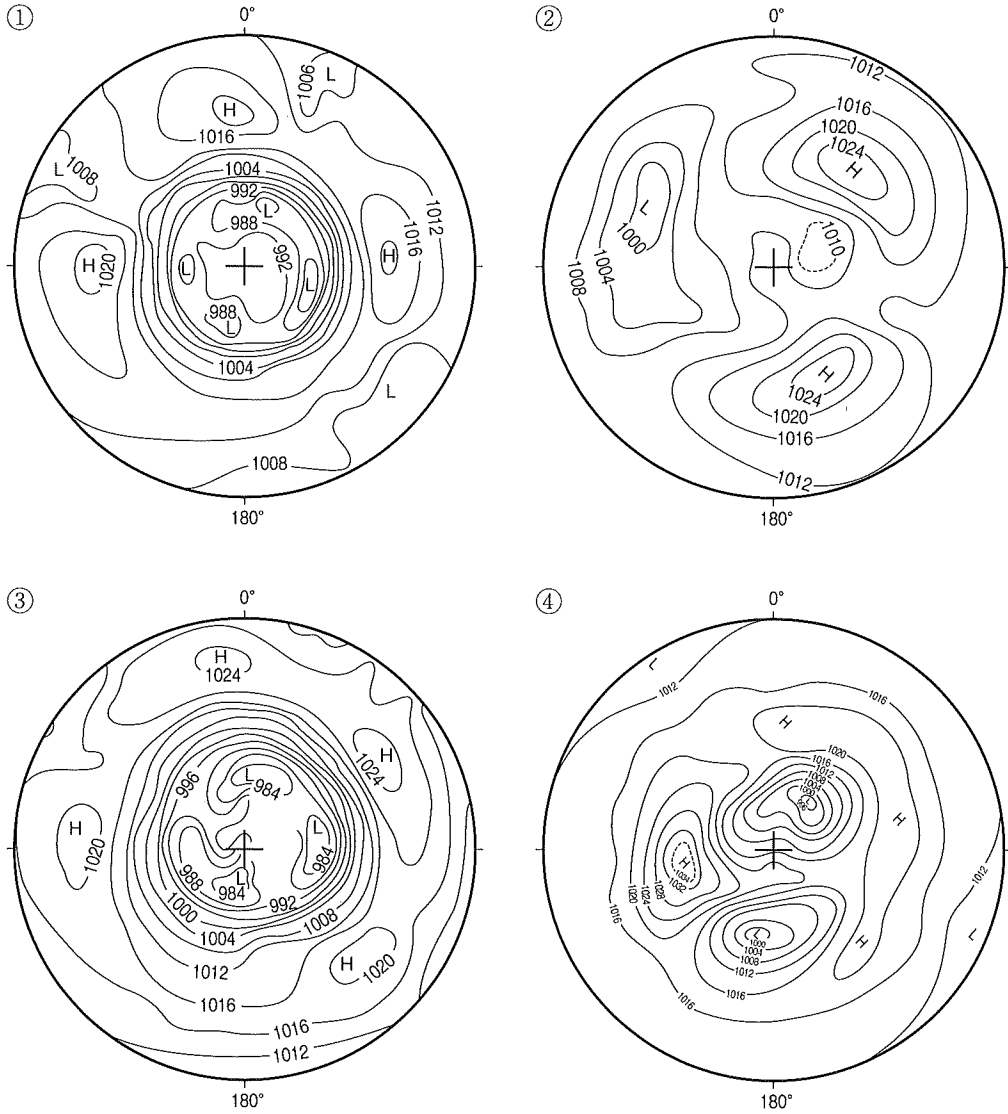
問5 下の図は、図1に示した南極大陸上の観測基地を任意に4地点選んで、月別平均気温の年変化を示したものである。この図中のア～エの年変化に該当する地点を、図1中に示した地点(M～P)のうちから、それぞれ1地点ずつ選んで答えよ。



(気象庁ならびに A. Strahler et al. などによる)

地理

問6 下の図は、それぞれ極点を中心とした北半球、ないし南半球における1月と7月の月平均の地上気圧分布である。南半球の7月に相当する図として最も適当なものを、下の①~④のうちから一つ選んで答えよ。



(Sturman & Tapper などによる)

〔Ⅱ〕 つぎの日本の都市に関する文章を読み、下記の問いに答えよ。ただし、解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示に従って記せ。

人々が居住する家屋が集まり、社会的な生活が営まれる空間を [a] と言
い、村落と都市に大別される。歴史的にみて、 [a] の立地はさまざまな自然
条件や社会条件と関連してきたと言える。⁽¹⁾

ひとくちに都市といっても、それぞれの都市が有する機能や性質、形態、形成
過程などは多様であり、それらによって分類される。⁽²⁾たとえば、環濠 [a]
や [b] から発展した都市においては、周囲に堀や壁、土塁がめぐらされて
いるが、これは都市の防御機能を高めるために行われてきたものである。また、
特定の [c] の発祥地や門前町などの [c] 施設に付随する形で発展し
てきた [c] 都市においては、その機能が卓越している。⁽³⁾

都市は発展するにしたがい人口が増え、工場などの生産に関わる施設や商業施
設など流通・消費に関わる施設が集積するようになるとともに、周辺地域に影響
を及ぼすようになる。そのような範囲を都市圏と呼ぶ。都市圏は中心都市と中心
都市に付随する [d] 都市で構成され、 [d] 都市の中でもベッドタウ
ンは中心都市への通勤者の居住機能に特化している。

上述のとおり、都市には多様な施設が集積している。そのため、一般に都市の
内部地域は均質な空間ではなく、機能や土地利用により分化する構造となってい
る。都心部には行政機関や企業の本社・支社などが集中する [e] が形成さ
れ、同様にデパートなど高次の商業施設もその周辺に立地する。さらに、都市に
よっては都心部の中枢管理機能の一部を担う副都心や新都心と呼ばれる地区が形
成されている。⁽⁴⁾

都市および都市圏が急速に成長するにつれ、多くの歪みが都市問題として顕在
化する。郊外では都市開発によって市街地が無秩序に拡がる [f] 現象がみ
られ、また、都市内部では地価高騰や過密による居住環境の悪化が深刻な問題と
なった。さらに、人口減少下および少子高齢化の現代においては、都市および都
市圏の縮退(縮小)に関連するさまざまな都市問題が顕在化しており、今後、それ
らの問題に対応するために行政負担が増大することが想定される。⁽⁵⁾

地理

問1 文中の空欄 a ~ f にあてはまる最も適切な語句を答えよ。
 なお、同一符号の空欄には同一の語句が入るものとする。

問2 下線部(1)について、村落と都市は対概念であり、いくつかの指標に基づいて区分される。どのような指標で区分されるのかを示したうえで、それらの指標に基づいて村落と都市の差異を答えよ。なお、解答欄内であれば字数は問わない。

問3 下線部(2)について、都市の機能や性質はその都市の産業構成に由来する面が大きい。つぎの図1は川崎市(神奈川県)、豊田市(愛知県)、美瑛町(北海道)、別府市(大分県)、湧別町(北海道)の都市の産業構成(就業者数)を表している。図中のア~ウに該当する都市の正しい組み合わせを下の①~⑥のうちから一つ選び、番号で答えよ。

	ア	イ	ウ
①	豊田市	別府市	湧別町
②	豊田市	湧別町	別府市
③	別府市	豊田市	湧別町
④	別府市	湧別町	豊田市
⑤	湧別町	豊田市	別府市
⑥	湧別町	別府市	豊田市

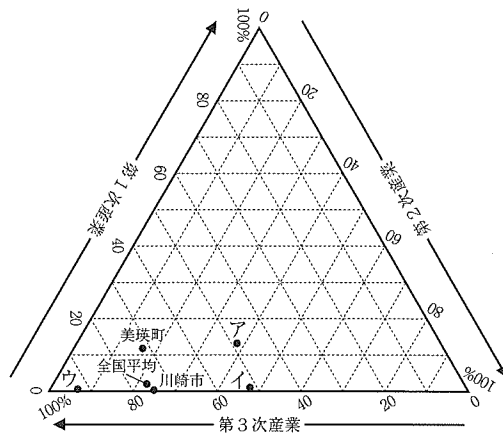


図1 各都市の産業構成

資料：経済センサス(2009年基礎調査)より作成。

問4 下線部(3)について、下の①～④の文章はそれぞれ寺院や神社の門前町として発展してきた都市について説明している。それぞれの市町名を答えよ。

- ① 下総台地に位置する都市で、新勝寺の門前町として発展してきた。市内には日本の玄関口としての空港が立地している。
- ② 志摩半島の北部に位置する都市で、市内の神社では式年遷宮が行われる。古くから信仰が篤く、全国から参拝客が訪れている。
- ③ 県の中央部に位置する都市で、象頭山の中腹にある金刀比羅宮の門前町として発展してきた。
- ④ 盆地の中央に位置する都市で、善光寺の門前町として発展してきた。また、北国街道の宿場町でもあった。

問5 下線部(4)について、つぎの図2は都市内部の主な土地利用が都心からの距離と地代(地価)とで決まる同心円モデルを示している。図中のXとYに該当する土地利用をつぎの語群から選び、それぞれ番号で答えよ。

[語群]

- ① 業務施設・商業施設
- ② 工場・倉庫
- ③ 住宅
- ④ 農地

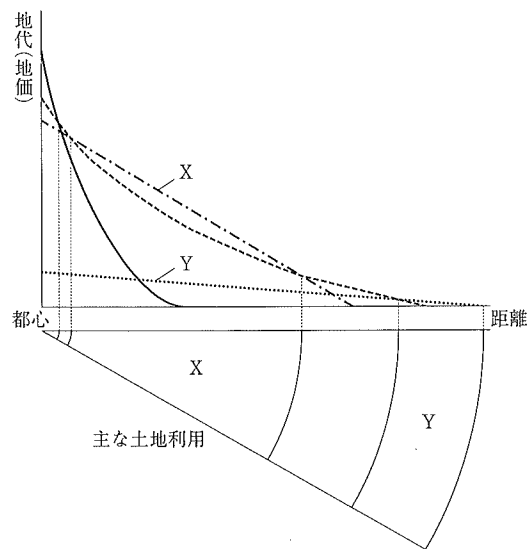


図2 都市内部における土地利用の分化モデル
資料：『経済地理学』より一部改変。

地理

問6 下線部(5)について、人口減少や少子高齢化に起因する問題に対応するために、今後、地方自治体にとってはさまざまな行政施策による負担が見込まれる。なかでも、都市整備の面で具体的にどのような行政施策による負担が考えられるか、二つ答えよ。なお、解答欄内であれば字数は問わない。

〔Ⅲ〕 北ヨーロッパの4か国の農林水産業について述べたつぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示に従って記せ。

北ヨーロッパ諸国の農業にとっては、自然環境が重要な意味をもつ。冬の間、 と の国土の大部分は、潮位差の小さい 海の大部分と同じく、雪と氷で覆われる。暖流である 海流の影響で、 や の沿岸部の冬は温和である。植物の生育期は一般に短く、北ヨーロッパの3分の1以上の地域で、夏の遅霜が農民に脅威を与えている。

農業は、日照時間の長い夏と薄暗さの続く冬という対照的な季節のリズムに対応して行なわれる。標高があり高緯度でもあるので、農耕には難しい条件下にある。 と 南部の茶色の森林土壌だけが、集約的な農業に耐えるが、他の地域では土壌はしばしば貧弱で、低湿地によく見られる が広がっている。多くの地域で、穀物のローテーション、かんがい、肥料投下などによる土壌改良がなされてきた。

考古学者の行なった青銅器時代の発掘によると、 では約3000年前から定着農耕が始まったという。 沿岸部では、これよりかなり早くから狩猟漁労集落が成立していたことが、岩石画から知られている。地名などの証拠によっても、農耕は沿岸部を北上し内陸の森林地帯へも広がったことが跡づけられる。かつて や 南部を覆っていた は、農耕のために伐り払われた。北ヨーロッパの農業はいつも漁業、林業、狩猟、鉱業と結びついていた。

18～19世紀まで、耕地の多くは開放耕地制度のもとにあった。それを再編成して土地所有単位にまとめたため、より効率的な耕作が可能にはなったが、しばしば集落の崩壊と散居の固定化を生じた。

北ヨーロッパの農業景観には、過去の歴史が刻印されている。玉石の小丘や石の壁は、どれも数世紀の歴史をもち、耕地から石ころを取り除こうとした営々たる努力の跡を物語っている。 では昔から が主要な建築材料として用いられてきたが、丸太小屋や石造りの家が農場の周囲に凝集し、それぞれの地域が独特のスタイルをとっている。

地理

北ヨーロッパの諸国では、工業化は比較的遅れて到来したため、20世紀早期まで、経済は農業を主としていた。数百年以前、農業がまだ貧弱だったころ、農村は貧しく、出移民が常に見られた。今日では、植物種や動物種の改良が進み、新技術が開発され、高い品質管理によって全体的に生産物の余剰をみるようになった。

□ C □ は、農業の商業化という面での先駆者であった。1870年代にヨーロッパ市場が北アメリカから穀物の受け入れを始めるまでは、□ C □ の農民たちは穀物生産に専念していた。輸入品の低いコストと競争できなくなると、彼らは □ f □ に転じ、補助的に豚や家禽^{きん}を飼うようになった。□ C □ は、第一次世界大戦までには西ヨーロッパの朝食のテーブルに並ぶベーコンやバター、タマゴの第一の供給国の地位を確立した。そして現在でもその地位の重要性に変わりはない。

20世紀初め、急速に増加したヨーロッパの都市人口の需要にこたえるため、スカンジナビア半島の大西洋岸の水産業は大きく発展した。また、並行して進歩した □ g □ 製造技術と冷蔵冷凍技術により製品の保存性が増し、市場取引が拡大した。同時に、半島の □ a □ 海側では、増えつつあった西ヨーロッパ向けの輸出品の船賃が下がるという利益を得た。

この地域の人口のほとんどが、かつては農業や水産業、林業に従事しており、今日では大部分がサービス産業に就いているとはいえ、いまだに土地への執着を持ち続けている。農業は、北ヨーロッパ文化の一部であり、都市住民も農村に □ h □ を所有していて定期的にそこへ帰ってゆく。都市から農村へ出かけるのも、人口稠密な □ C □ 以外は容易で、野外でのレクリエーションが一般的であるため、農民と都市住民は密接に接触する機会が多い。狩猟も盛んにおこなわれている。□ D □ や □ B □ , □ A □ では、あらゆる階層の人々が、頭数制限のために行なわれる年間数十万頭の □ i □ の間引き狩猟に加わる。

(『Encyclopedia of World Geography』より。一部改変。)

問1 文中の空欄 ~ に当てはまる国名を答えよ。ただし同じ記号は同じ国名を指す。

問2 文中の空欄 ~ に当てはまる語句を答えよ。

問3 下の表は、文中の ~ の各国の穀物生産量とそのうちの小麦の生産量を示したものである。表中のア~エの国は、それぞれ ~ のどれに当たるか、記号で答えよ。

単位：1000トン

	ア	イ	ウ	エ
穀物生産量	9410	5056	3661	1066
うち小麦生産量	4525	2289	887	247

資料：『世界国勢図会 2014/2015』

問4 文中の を除いた ~ の3か国を、年間漁獲量の多い順に並べたものとして最も適当なものはどれか。下の①~⑥のうちから選んで記号で答えよ。

- ① B→C→D ② B→D→C ③ C→B→D
 ④ C→D→B ⑤ D→B→C ⑥ D→C→B

問5 文中の ~ の国のうちで、EUに未加盟の国が一つだけある。その国を ~ の記号で答えよ。